



## ■ 新年ごあいさつ

(一社) 広島県指定自動車学校協会

会 長 新原 靖

謹んで新年のお慶びを申し上げます。旧年中は当協会運営に格別のご協力をいただき誠にありがとうございました。あわせて、優良な交通運転者の育成や高齢者講習をはじめ地域の交通安全教育センターとしての役割を果たしていただいていることについても、重ねて感謝申し上げます。

また、一昨年にひきつづき昨年もまたコロナ禍での協会運営となりましたが、会員各校所の役職員の皆様には定められたガイドラインに則り適正な教習業務を行って頂き、最も懸念されていたクラスターも県内では発生することなく1年を過ごすことができました。本稿執筆の時点では、新型コロナウイルス感染症の発生状況はずいぶん下火となり落ち着いている状況ですが、繁忙期を迎えるにあたり引き続き感染防止策に努めていただきますようお願いいたします。

こうしたコロナ禍の中、教習所内での三密を防止することと合わせて、社会のDX（デジタルトランスフォーメーション）の流れに対応する目的で、一昨年12月に発出された警察庁通達によりオンラインによる学科教習が認められることとなりました。全国的にも実施する校所が増えてきているところですが、システムに関する課題や、運用に関する課題が徐々に明らかになりつつあります。IT技術の導入によりお客様の利便性が向上できることや、災害時や感染防止の対応、業務の合理化、効率化が図れるという側面は重要なことです。一方で、システムの不備や人為的な要因によって適正な教習が行われない可能性があり、「なりすまし受講」や飲食、他人との会話等「ながら受講」の事案な

ども報告されています。不適切な教習がそのまま放置され、それが頻発するようなことになるかと法で定める運営基準を満たさなくなる恐れもあります。また、交通社会人として必要な知識や、安全運転をするという認識をしっかりと持ってもらうために、対面教習とは違う創意工夫も必要でしょう。学科教習に限らずIT技術を導入する際には、効率化等の利便性とその業務の意義目的をしっかりと吟味し検討しなければならないと考えています。

本年5月には改正道路交通法も施行されます。繁忙期を挟んで準備していくことになりかと思いますが、会員の皆様におかれましてはスムーズに移行できるようお取り計らいいただきたく存じます。

交通安全を通して地域社会に貢献するという指定自動車教習所の役割を肝に銘じ、広島県指定自動車学校協会各校所の更なる発展に貢献できるよう、関係行政機関の皆様と引き続き強力で連携しつつ努力して参ります。

結びに 広島県指定自動車学校協会会員各校所の益々のご発展と、役職員の皆様のご健勝を祈念してご挨拶とさせていただきます。

免許をとった  
私の笑顔がふえた  
<http://www.hirojikyو.info/>